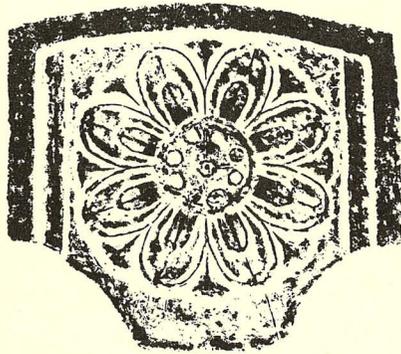


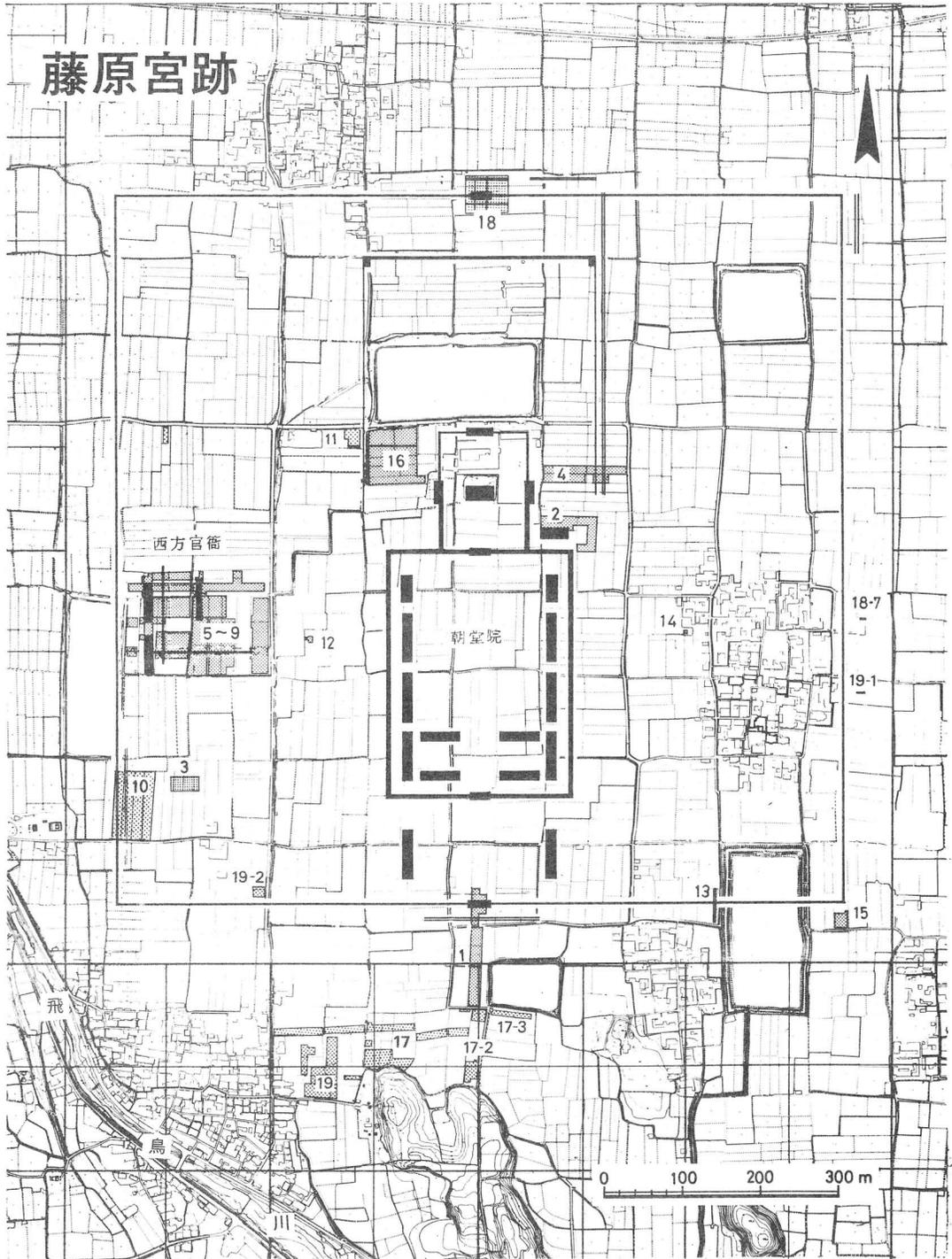
# 飛鳥・藤原宮発掘調査概報 7



昭和 52 年 5 月

奈良国立文化財研究所

# 藤原宮跡



網：調査地 数字：調査次数

## 飛鳥・藤原宮発掘調査概報 7

### 目 次

藤原宮第17-2・3次の調査	3
藤原宮第19次の調査	7
藤原宮第19-1次の調査	17
藤原宮第19-2次の調査	18
山田寺第1次の調査	20
大官大寺第3次の調査	36
稲淵川西遺跡の調査	43
奥山久米寺西方の調査	50
小墾田宮推定地第3次の調査	51
軽池北遺跡の調査	52

飛鳥・藤原宮跡発掘調査部は、昭和51年度の調査として、藤原宮・山田寺・大官大寺・稲淵川西遺跡・奥山久米寺西方・軽池北遺跡等の発掘を実施した。

藤原宮では第19次までの調査を終了し、現在第20次調査として大極殿院北門を調査中である。特に、今年度は藤原京朱雀大路及び右京7条1坊を調査し、従来不明であった京内の様相の一端を知ることができた。

山田寺は、史跡整備のための初年度の調査を塔・中門・回廊の確認を目的として実施し、ほぼ当初の目的を達することができた。

大官大寺では東面回廊及び寺域の東限を確認する目的で第3次調査を実施し、回廊を確認するとともに、中ツ道跡と推定される道路遺構を検出した。

稲淵川西遺跡は駐車場建設に伴う事前調査として実施し、掘立柱建物や石敷広場など、7世紀中頃に造営された宮殿跡と考えられる遺構を検出した。

小墾田宮推定地や藤原宮内のその他の調査は、いずれも家屋の新築等に伴う緊急調査として小範囲の発掘を行ったものである。